

2023年1月25日

各位

Abalance 株式会社
代表取締役社長 光行 康明
(コード番号 3856 東証スタンダード)
問合せ先: 執行役員 IR 広報室長兼経営企画室長 堀内 信之
電話: 03-6260-3028 (代表)

日本経済新聞 当社 (Abalance株) 掲載のお知らせ

日本経済新聞社取材の「NIKKEI 脱炭素プロジェクト」の分科会に、当社代表取締役社長の光行が出席した際の記事が掲載されましたので、お知らせいたします。

当社グループは、太陽光発電事業、風力開発事業等を中心として、再生可能エネルギーの供給を通じて、脱炭素経営を推進する企業ですが、脱炭素社会の実現を後押しするという主旨に賛同し、「NIKKEI 脱炭素プロジェクト」に参画しております。

先般開催されました、「COP27 を振り返るユース対話会」(2022年12月14日、東京ステーションホテル)では、COP27にて気候災害等で被害を受けた国を支援する基金を含む制度創設等が共有され、当社代表取締役社長の光行からは、当社グループの事業であるグリーンエネルギーの供給は、地球環境温暖化防止に重要な意味があり大きな責任を感じている。カーボンニュートラルに謙虚な気持ちで、世界の脱炭素化へ貢献したい旨を現表しております。

新規参画企業



Abalance
社長
光行 康明氏

グリーンエネで貢献

当社グループは、太陽光発電事業、風力開発事業等を中心として、再生可能エネルギーの供給を通じて、脱炭素経営を推進する企業ですが、脱炭素社会の実現を後押しするという主旨に賛同し、「NIKKEI 脱炭素プロジェクト」に参画しております。

先般開催されました、「COP27 を振り返るユース対話会」(2022年12月14日、東京ステーションホテル)では、COP27にて気候災害等で被害を受けた国を支援する基金を含む制度創設等が共有され、当社代表取締役社長の光行からは、当社グループの事業であるグリーンエネルギーの供給は、地球環境温暖化防止に重要な意味があり大きな責任を感じている。カーボンニュートラルに謙虚な気持ちで、世界の脱炭素化へ貢献したい旨を現表しております。

脱炭素社会の実現を後押しする「NIKKEI 脱炭素プロジェクト」は、参画企業や脱炭素委員の関心が高いテーマについて分科会方式で議論している。2022年10月にはサーキュラーエコノミー(循環型経済)について意見を交換。同年12月はエジプトで開催された第27回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP27)を振り返りながら、ユース団体との対話会を開いた。

【Abalance グループ事業について】

■ ベトナム VSUN 社 日系パネルメーカー首位 (Tier1)

【第4工場 外観/ベトナム国】



【工場内の様子】



■ グリーンエネルギー事業は世界各位へ展開



【Abalance HP アドレス】 <https://www.abalance.jp/>

【広報問い合わせ窓口】

執行役員 IR 広報室長兼経営企画室長 堀内 信之

IR・経営企画室担当 河内 祐一

電話：03-6260-3028 (代表)

Mail：ir@abalance.co.jp

以 上